



# 議会だより

2010年5月1日発行

第24号



## 古布庄小入学式（4月9日）

- 議長・副議長あいさつ・議員紹介 ..... 2～3ページ
- 3月定例会 平成22年度予算可決 ..... 4～5ページ
- 臨時議会 選挙後の初議会 ..... 6ページ
- 一般質問 8議員が町政を問う ..... 7～14ページ
- 委員会報告 ..... 15ページ
- 陳情・議会活動・あとかき ..... 16ページ

# 町議会新体制でスタート

## 議長就任あいさつ



川本正一郎

このたび不肖私、議長の要職に就任させていただくことになり、誠に光栄に存じますと共に、議長としてその責任の重さをひしひしと感じている次第でございます。

琴浦町も合併後六年になり、依然として厳しい財政状況と低迷する景気環境の中ではありますが、心豊かで暮らしやすい活力と潤いのある町づくりのために、皆さんの負託に応えることのできる議会活動を推進してまいります。

今後の課題として、心身ともに健康で将来へ伸びてゆく子供たちの教育環境の整備、少子高齢化のすすむ中で安心して暮らせる地域福祉の充実と、それを支える生活環境の整備と共に、活力ある農林水産業と商工業の振興に努め後継者や起業家を支援して雇用の確保と将来展望のある町づくりに努力したいと考えております。

町民の皆さんと共に琴浦町に誇りを持ち、「琴浦町が好きです」と言える町づくりを推進して、議会活動を議長として精一杯力を尽くして頑張りますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## 副議長就任あいさつ



金田章

この度、議会議員の皆様のご推挙をいただき、副議長に就任することになりました。誠に身に余る光栄であり、その責任の重大さを痛感しているところであります。

ご推挙を受けた以上、議員の皆様をはじめ各位のご指導・ご協力を仰ぎながら民主的で公平な議会運営を図るため、議長を支え副議長の職務である「代位」が勤まるよう常に自己研鑽に努めてまいり所存であります。

議会の使命である「政策の決定」、行政に対する「監督的機能」を十分に果たし、町民の皆さんの福祉向上を前提に、活力のある調和と均衡のとれた町づくりを取り組んで行けるよう誠心誠意尽くす覚悟ですので、よろしくようお願い申し上げます。副議長就任のご挨拶といたします。

### 総務常任委員会

- 委員長 小椋 正和
- 副委員長 語堂 正範
- 委員 石賀 榮
- 大田 友義
- 金田 章
- 藤本 則明
- 藤堂 裕史

### 議会運営委員会

- 委員長 前田 智章
- 副委員長 青亀 壽宏
- 委員 桑本 始
- 金田 章
- 小椋 正和
- 高塚 勝

### 教育民生常任委員会

- 委員長 高塚 勝
- 副委員長 青亀 壽宏
- 委員 福本 宗敏
- 武尾 頼信
- 川本正一郎
- 新藤 登子

### 広報特別委員会

- 委員長 藤堂 裕史
- 副委員長 山田 義男
- 委員 井木 裕
- 青亀 壽宏
- 高塚 勝
- 語堂 正範

### 農林建設常任委員会

- 委員長 桑本 始
- 副委員長 山田 義男
- 委員 山下 一成
- 井木 裕
- 前田 智章
- 手嶋 正巳

### 中部ふるさと広域連合議会議員

- 川本正一郎
- 金田 章
- 前田 智章

### 後期高齢者医療広域連合議会議員

- 川本正一郎

# 議員紹介

(4月1日現在議席順)

皆が支えあって暮らせる町づくりを目指します。



新藤 登子

活力・夢のある町づくりに取り組みます。



山田 義男

琴浦町の未来のため、一歩一歩頑張ります。



語堂 正範

元気で笑顔あふれる町づくりに努めます。



小椋 正和

町民の代弁者として、是是非非で行動します。



高塚 勝

臥薪嘗胆  
琴浦町のために努めます。



藤本 則明

住みよい町づくりを目指し頑張ります。



藤堂 裕史

町民目線でチェック&提案情報公開に全力!!



青亀 壽宏

町の活性化のために頑張ります。



武尾 頼信

初心にかえり明るい琴浦町を目指し頑張ります。



手嶋 正巳

呑舟の魚は枝流に游がず。今、何をすべきか。



山下 一成

公正・公平に町民の目線で頑張ります。



井木 裕

公正・公平な町政を目指します。



桑本 始

人に思い遣りの気持ちを持って頑張ります。



前田 智章

どんな難しいことも誠心誠意町民の立場で頑張ります。



石賀 榮

住んで良かったと言える町づくりをめざします。



福本 宗敏

希望と安心で元気な琴浦町へ前進あるのみ。



大田 友義

# 平成22年3月定例会

## 一般会計当初予算

## 賛成多数で可決

総額 90億4600万円

賛成14名 反対4名

### 一般会計当初予算審議

#### 討論

##### 賛成討論

前田議員

町の活性化などを図ろうとする強い姿勢がうかがえ、トータル的に的を得た予算である。

##### 反対討論

青亀議員

今求められている改革が不十分である。同和対策をやめ、全町民を対象とした施策に全面的に移行するときである。

##### 賛成討論

福本議員

財政困難な時であるが、特に同和対策、同和教育に予算を付けていただいたことを賛成したい。

##### 反対討論

高塚議員

役場新庁舎建設は町民の意見を聞いておらず理解は得られない。同和対策の各種助成金なども見直すべきである。

##### 反対討論

石賀議員

物産館の予算計上について議会に報告がない。議会軽視である。もつと町が取り組むべきである。

##### 賛成討論

山田議員

同和問題に前向きに取り組んでいただいているので、賛成したい。

##### 賛成討論

金田議員

厳しい財政の中、活性化施設の建設など新規事業の取り組みや、子育て応援事業など福祉事業を評価したい。適正な予算である。

### 平成22年度一般会計予算の新規事業

新庁舎建設事業（新庁舎建設のための設計業務委託）	6900万円
参議院議員総選挙費	1594万円
県知事・県議会議員選挙	614万円
以西財産区議会議員選挙	233万円
防災備蓄倉庫設置事業（倉庫2棟設置）	5390万円
音声告知・防災行政無線システム維持管理	603万円
自治基本条例の策定事業	37万円
町勢要覧作成	330万円
国道9号線活性化研究協議会運営事業	50万円
子ども手当・児童手当支給事業（対象の子ども2,326人見込）	3億2831万円
子育て応援事業（保育料の軽減）	1100万円
浄化槽維持管理事業（浄化槽の清掃・法定点検等の事務）	20万円
緊急雇用創出事業（保育支援のための臨時職員1名配置）	185万円
緊急雇用創出事業（清掃作業員2名配置など）	453万円
人間ドック事業（受信料の助成、国保加入者40歳～70歳までの5歳きざみ対象）	579万円
農家担い手結婚対策事業	41万円
強い水産業づくり交付金事業（水産物直売所整備の助成）	2970万円
低コスト農業集落排水施設更新支援事業	1610万円
日韓販路調査研究事業（町内企業の販路拡大を目的とした調査）	50万円
平城遷都1300年祭（町の物産観光宣伝事業）	67万円
高規格道路開通式典事業	250万円
長寿命化修繕計画策定事業（町道橋の長寿命化計画の策定）	4万円
高規格道路活性化施設建設事業（別所のパーキングエリア隣接地に琴浦町をPRする物産館の設置）	1億4270万円
コーポラスことうら管理事業（4月に取得した町営住宅の管理）	1320万円
東伯中大規模改修（東伯中学校窓枠大規模改修設計・工事）	7890万円
家庭教育支援推進事業（家庭教育についての講演会）	21万円
公共ホール音楽活性化支援事業	70万円

## 3月定例会

平成二十二年三月定例会が、三月十一日に招集され同月二十三日までの十三日間の日程で開催されました。初日には、諸般の報告に続き、陳情の各委員会への審査付託、町長提出議案の一括上程、提案理由説明、内容説明があり、平成二十一年度補正予算案四件が先議されました。三月十二日は八名の議員が町政全般にわたり一般質問を行い、十五日には、予算議案に対する総括質疑並びに委員会審査付託がなされました。三月二十三日の最終日には、平成二十二年一般会計予算をはじめとする当初予算十七件、平成二十一年度補正予算四件、条例の制定四件、一部改正九件、廃止二件、その他十六件、議員提出議案五件を慎重に審議し原案どおり可決しました。

# 平成22年琴浦町 第2回定例会 (3月11日~23日)

区 分	議案名	補正額	補正後	審議結果
補正予算	平成21年度琴浦町一般会計補正予算 (第8号)	1億8219万円減	103億3006万円	原案可決
	平成21年度琴浦町国民健康保険特別会計補正予算 (第4号)	27万円増	22億8079万円	原案可決
	平成21年度琴浦町老人保健特別会計補正予算 (第3号)	785万円減	612万円	原案可決
	平成21年度琴浦町農業集落排水事業特別会計補正予算 (第3号)	355万円減	3億4115万円	原案可決
	平成21年度琴浦町下水道事業特別会計補正予算 (第5号)	777万円減	9億9342万円	原案可決
	平成21年度琴浦町介護保険特別会計補正予算 (第4号)	3080万円増	20億2845万円	原案可決
	平成21年度琴浦町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第3号)	175万円増	1億9367万円	原案可決
	平成21年度琴浦町水道事業会計補正予算 (第3号)			原案可決
		当初予算総額		
予算	平成22年度琴浦町一般会計予算	90億4600万円		原案可決
	平成22年度琴浦町国民健康保険特別会計予算	21億9230万円		原案可決
	平成22年度琴浦町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	2097万円		原案可決
	平成22年度琴浦町老人保健特別会計予算	57万円		原案可決
	平成22年度琴浦町農業集落排水事業特別会計予算	2億6088万円		原案可決
	平成22年度琴浦町下水道事業特別会計予算	11億352万円		原案可決
	平成22年度琴浦町介護保険特別会計予算	20億150万円		原案可決
	平成22年度琴浦町後期高齢者医療特別会計予算	1億9834万円		原案可決
	平成22年度琴浦町八橋財産区特別会計予算	2万円		原案可決
	平成22年度琴浦町浦安財産区特別会計予算	1万円		原案可決
	平成22年度琴浦町下郷財産区特別会計予算	0.6万円		原案可決
	平成22年度琴浦町上郷財産区特別会計予算	0.6万円		原案可決
	平成22年度琴浦町古布庄財産区特別会計予算	0.6万円		原案可決
	平成22年度琴浦町赤碓財産区特別会計予算	1673万円		原案可決
	平成22年度琴浦町成美財産区特別会計予算	326万円		原案可決
平成22年度琴浦町安田財産区特別会計予算	1122万円		原案可決	
平成22年度琴浦町水道事業会計予算			原案可決	
条例	障害表記の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について			原案可決
	琴浦町遺児手当支給条例の廃止について			原案可決
	琴浦町父子手当支給条例の廃止について			原案可決
	琴浦町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について			原案可決
	琴浦町現業職員の給与の種類及び基準に関する条例及び琴浦町公営企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について			原案可決
	琴浦町職員の育児休業等に関する条例及び琴浦町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について			原案可決
	琴浦町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について			原案可決
	琴浦町職員の給与に関する条例の一部改正について			原案可決
	琴浦町税条例の一部改正について			原案可決
	琴浦町農村多元情報連絡施設利用条例の一部改正について			原案可決
	農林水産業地域改善対策事業に係る施設条例の一部改正について			原案可決
	琴浦町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について			原案可決
	コーポラスことうら条例の制定について			原案可決
	コーポラスことうら基金条例の制定について			原案可決
琴浦町松ヶ丘集会所条例の制定について			原案可決	
その他	琴浦町松ヶ丘集会所の指定管理者の指定について			原案可決
	鳥取中部ふるさと広域連合規約の変更について			原案可決
	倉吉市との間における定住自立圏形成協定の締結について			原案可決
	町道路線の廃止について (南荒神町住宅 (1~9号) 線)			原案可決
	町道路線の認定について (南荒神町住宅 1号線)			原案可決
	町道路線の認定について (南荒神町住宅 2号線)			原案可決
	町道路線の認定について (南荒神町住宅 3号線)			原案可決
	町道路線の認定について (南荒神町住宅 4号線)			原案可決
	町道路線の認定について (南荒神町住宅 5号線)			原案可決
	町道路線の認定について (南荒神町住宅 6号線)			原案可決
	町道路線の認定について (南荒神町住宅 7号線)			原案可決
	町道路線の認定について (上伊勢市内2号線)			原案可決
	町道路線の認定について (尾上線)			原案可決
	町道路線の変更について (三軒屋線)			原案可決
財産の取得について (雇用促進住宅東伯宿舎 取得金額 5120万円)			原案可決	
監査委員の選任につき同意を求めることについて			同意	
議員提出	船上山登山道の眺望を回復することを求める意見書の提出について			原案可決
	「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書の提出について			原案可決
	現行保育制度に基づく認可保育所の増設、保育・学童保育条件の改善、子育て支援施策の拡充と保育関係予算の大幅増額を求める意見書の提出について			原案可決
	国民健康保険の国庫負担金の増額を求める意見書の提出について			原案可決
安全・安心な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所・出張所の存続を求める意見書の提出について			原案可決	
陳情	陳情3件 (16ページ参照)			

# 臨時会

## 選挙後初めての議会で議会構成が決まる!!

任期満了に伴う町議会議員の選挙が1月24日行われ、新しい19人の議員が選出されました。新しい議会の陣容が決まり、議長などの議会役職や各常任委員会などの構成を決めるための臨時議会、いわゆる「初議会」が2月22日に開かれました。

初議会では慣例により最年長議員である石賀榮議員が「臨時議長」に就任し、先ず、議長の選出は、井木裕議員及び手嶋正巳議員、川本正一郎議員3名の所信表明の後、選挙が行われ、川本正一郎議員が新しい議長に選出されました。

ここからは川本新議長のイニシアチブで議事が進められ、議席の指定、副議長選挙、常任委員の選任など一連の議会構成が決められました。(議会構成はP2をご覧ください。)

また、臨時議会に提案された議案は、原案通り可決しました。

## 平成22年琴浦町 第1回臨時会 (2月22日)

区分	議案名	補正額	補正後	審議結果
補正予算	平成21年度琴浦町一般会計補正予算 (第7号)	1億7143万円増	105億1225万円	原案可決
	平成21年度琴浦町下水道事業特別会計補正予算 (第4号)	367万円増	10億120万円	原案可決
その他	監査委員の選任につき同意を求めることについて			同意

## お悔やみ申し上げます

3月14日、山内勉議員がご逝去されました。故人の生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



## 全国町村議会議長会表彰

3月2日、鳥取市にて自治功労者表彰式が開催され、本町議会の3名の議員が、町村議会議員として15年以上在職し、功労があった者として表彰されました。今後ともご活躍を期待します。

表彰された議員は次のとおりです。



山下 一成 議員



大田 友義 議員



桑本 始 議員

## 新藤登子氏が繰上当選

3月15日から1名欠員となっておりました琴浦町議会ですが、3月28日付けで新藤登子氏が繰上当選となりました。

# 一般質問

しつもん

こたえ



藤本則明 議員

## 琴浦町の将来への展望は

安心して暮らせるまちづくりを目指している  
山下町長

**Q** 合併して五年が経過した。町長は自らの決断で大変な重責を担われた現在、様々な問題が山積する中、琴浦町の将来への展望について素直な今の思いを伺う。

**A** 町の主人公である町民が連携をすすめるような取り組みが必要であり、町民全体の総力が一つの大きな力になるようにしなければならぬと考える。そういう視点を大切にしながら、

十七項目について取り組みをしていきたい。

それは、庁舎新築の推進、安全・安心のまちづくりの推進、関西事務所との連携の強化、産学金官連携構想や農工商連携構想を進めていき、実効性のあるものにしていくことである。また、デジタル化に伴う音声告知システムの推進、保育園・幼稚園・小中学校の整備計画の推進、少子高齢化対策や人権同和教育、男女共同参画に対する取り組み、農商工の振興対策の推進、地元企業との連携推進を図っていきたい。来年春季ごろ完成のパーキングエリア隣接の活性化施設整備と同時に国道九号線の活性化も並行的に進めていくべきである。そして、国際・国内交流を推進し、経済的な施策に取り組み挑戦的なことも重要となってくる。広域的な中部地区を一つという視点での取り組みも必要であり、公共下水道の整備などを考えているところである。

## 地域の皆さんと一緒に取り組んでいる

地域全体で子どもたちを見守っていききたい  
永田教育長

## 町内の通学路の総点検を

藤本議員

**Q** 犯罪などから尊い人命を守り、広く弱い立場の人たちに心配りをする事は大変重要であると考え。特に子どもたちは町民みんなの宝である。

町内の通学路などを総点検し、必要あれば速やかに対応し、安全

対策を施すべきと考えるが、町長、教育長の意見を伺う。

**A** 山下町長  
毎年保護者会議などで通学路の点検をし、危険箇所などについて現地調査を実施している。

一方、教育委員会が中心になり、通学路を総点検し、犯罪から子どもたちなどの弱者への一層の安全対策について取り組みを展開している。地域安全パトロール隊を立ち上げて児童生徒の登下校における立ち番など、行政と住民が一体となって活動している。町民の皆さんと一緒に安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいるところである。

**A** 永田教育長  
学校と保護者と

が協力しながら子ども

ちと通学路を歩いて、通学の安全指導や安全点検を行っている。そこで気づいた危険箇所などについては、例えば子ども会単位で話し合ったり、安全マップを作成したりして子どもたちの安全意識の高揚に努めている。

また、スクールガードリーダーの配置や八橋警察署などに協力いただき子どもSOS連絡所の設置、地域の企業の方の自動車に防犯ステッカーを貼つての見守りなど、多くの町民や企業関係の皆さんの連携や協力をいただきながら取り組んでいる。

このような地域ぐるみの取り組みが子どもたちや女性、高齢者の方たちにとっても安全で安心なまちづくりにつながっていくものと考えている。



高塚 勝 議員

## ストップ人口減

長期的な展望で町政方針を立てる必要がある 山下町長

**Q** 町の人口は、合併時二万六七三人いたが、満五周年の昨年九月には一万九五二九人となり、五年間で二五四人の減である。  
人口が減れば、町の活力が失われ、税収や国からの交付金も減り、地域経済が疲弊する。そこで、合併五年、十年先の人口はどの位になると予想して町づくりの計画をしているのか伺いたい。

**A**

平成十九年に策定した第一次琴浦町総合計画の基本計画において、平成二十八年の人口推計は一万七千人と見込んでいる。

この総合計画に沿って事業施策を推進していきたいと考えており、雇用促進住宅の買い取りの件やさきり住宅の定期借地権の創設、関西事務所を拠点とした守口門真商工会議所との連携、少子化対策として総合的な子育ての環境整備、例えば保育料の第三子無料化などを引き続き人口増の施策として展開していきたい。長期的な展望、戦略性を持って町政を運営することは当然であり、議会などいろいろな協議しながら進めていくことは必要であると考えている。



## 給食費・保育料無料化を

高塚議員

無料化は困難である 山下町長

子育ての環境づくりの充実に努めたい 永田教育長

**Q**

人口が減ることを防止するには、子育て支援の充実が重要である。給食費、幼稚園授業料、保育料の無料化を図るべきで

**A**

ある。先進事例として、山口県和木町は、幼稚園、小中学校の給食費を、新潟県聖籠町は、三歳から五歳の保育料を完全無料化して成果を上げていないか。

山下町長

琴浦町は、県の第三子軽減事業の対象となる子どもの保育料を町独自に無料としている。また、その他にさまざまな子育て支援事業を実施して保護者の負担軽減を図っており、県下でもかなり頑張った施策を展開している」と認識している。人口を増加させるた

**A**

永田教育長

保育料の完全無料化は財政的にも非常に困難であるが、今後も子育て支援に積極的に取り組んで、人口増につなげていきたいと考えている。

子の幼稚園授業料、給食費を無料としてきている。また、牛乳費補助や、給食費補助を行い、保護者の負担軽減を図っている。給食費などの一部補助は平成二十二年度予算

にも計上しているが、それらをすべて無料化にすることは、財政的に困難ではないかと考える。

なお、子育て支援については経済的支援と合わせて関係課と連携しながら、乳幼児学級を開設したり地域子育て支援センターを設置するなどしながら、子育ての仲間づくりや育児の学習、相談などができる場や機会の提供を図っている。やはり子育てしやすい環境づくりをしていくことは大切であり、今後もそういった取り組みの充実に努めていきたい。

## ストップ役場新庁舎

高塚議員

新庁舎建設を推進したい 山下町長

**Q**

町長の後援会のしおりの特に重点的に進めたい施策の項目のトップに、「庁舎新築を推進します」とあるが、庁舎建築は一時凍結して、地場産業である農林水産業や商工業の振興、住民の経済支援に力を振り向け、地域経済を振興し、雇用の安定と若者が定住する環境づくりを図

**A**

新庁舎建設は現

在の状況を受け、分庁舎にある程度防災機能を果たせつつ、本庁舎を防災の拠点としての整備が必要であると考えている。

確かに農林水産業などの振興など大変重要なことであるが、庁舎建設を

後にすると、合併特例債の適用期間内に建設することが困難になり、一般財源のみの対応となってしまう。建設については、町に負担の少ない非常に財政的に有利な合併特例債を活用して事業の推進を図っていただきたい。

ご理解をいただきたい。



## 町長の町政方針を伺う

強力なリーダーシップの発揮が必要である

山下町長



井木 裕 議員

**Q** 先般の町長選において十七項目の公約をされているが、その中から四項目質問したい。

一、新庁舎建築の推進をすること

二、町政のより一層健全性及び行財政改革、企画力の充実

三、保育園・幼稚園・小学校整備計画の推進

四、人権同和教育、男女共同参画社会、地域力の取り組みの推進

四項目の問題について、複雑で多くの課題であるが、トップリーダーとしてどう対応されるのか町民の皆さんに分かりやすく説明していただきたい。

**A**

一、今、具体的な予算措置をして有利な合併特例債を活用して進めるべきと考える。

二、行財政の健全性をいかに保つか中長期に充分に認識しながら

行財政運営を行う必要がある。町の力を発揮するためには、企画力の充実が重要であり、行政の組織が横断的に情報を共有して、一つの課題を多角的に捉えて解決をするような構想力というものが問われている。

三、中長期の展望に立った答申を受け、議会との協議や町民、多くの人との議論を重ねながら方針に基づいて実施していく。

四、行政として従来から人権同和教育、男女共同参画社会という視点を持ちながらやってきており、さらに一層その展開を図りたい。また、地域などでの独創的な取り組みなどを支援し、その取り組みが個々に連携をしながら大きな広がりとなっていくことが好ましいと考える。

二、行財政の健全性をいかに保つか中長期に充分に認識しながら

## 町の農業の将来を伺う 井木議員

農工商連携を掲げ推進していきたい

山下町長

**Q**

町の農家は高齢化と農産物の価格低迷で農家所得が減少し、大変苦勞されているのが現状である。農業に明るさがないければ、商工業などの町づくりはできないと確信している。町の農業予算は多額を消費しているが、町長は現状を踏まえて琴浦町農業の将来をどのように考えているのか伺う。

**A**

町の農業の振興は重要であり、地域の全体の経済環境に密接に結びついていていて思っている。また、町の総合計画を踏まえながら事業を実施しているが、当然予算的な制約があったりしてなかなか本格的なことになるかと思っている。

そんな中で、平成十九年度から鳥取大学と連携して、琴浦町農林水産業活性化研究会をスタートさせ、いろんなテーマについて意見交換をしながら、農工商を含めた大きな取り組みとしてやっていこうと考えている。また、関西事務所との連携により、守口門真商工会議所との情報交換などをし、消費者への即売、PRなど問題意識を持って取り組んでいきたい。

今後も、従来からのいろんな施策はもちろん展開していくということが前提で、農林水産業の活性化を図っていききたい。



梨の人工交配



小椋正和 議員

## 少子高齢化と人口増加対策

問題認識を持ち検証し  
取り組みたい 山下町長

A

保育料について  
は、二月時点で園

児数全体は七一三名で、  
第三子軽減対象者は  
二一四名であり三〇%の  
園児を無料にしている。

さらに、小・中学生医療  
費助成事業と子育て支援  
交付金事業を実施し、少  
子化対策に取り組んでい  
きたい。

Q

第三子保育料完  
全無料化をはじめ

め、保育料の減額など今  
後の少子化支援対策はど  
うなっているのか。

企業誘致、Ｉターン、  
Ｕターンなど若者の定住  
化促進による人口増加対  
策はどうするのか。

高齢化対策も急務と考  
えるが今後の対応策はど  
うか。

高年齢の方の人権も含め  
て思いを共有しながら対  
応していきたい。

今回、雇用促進住宅の  
入居について、家族の方  
や单身の方、外国人の方  
も受け入れていく考えを  
持って条例案を提案した。  
また、町内の空き家情報  
を関西事務所などの連  
携を保ちながら共有し、  
活用していきたい定住促進に  
つなげていきたい。

先月、地域住民や関係  
機関が一体となって認知  
症の高齢者に対する対応  
をどうするのか県下で初  
めて取り組み、発表をし  
た。今後もこのような取  
り組みを積極的に行い、

## 農林業活性化と中山間地支援対策

小椋議員

地域の取り組みを支援していくことは  
必要である 山下町長

A

中山間地域等  
直接支払制度を

今後も国の方針などに  
従い継続して支援して  
いきたいと考えている。

また、地元にある有  
効な資源、人などを活  
かしての独自の取り組  
みをしていくところ  
は、町はできる限り支  
援していくべきと考え  
る。

農・商・工連  
携の取り組みが  
進展するなかで、中山  
間地農家への活性化支  
援対策はどうなってい  
るか。

農業従事者の高齢  
化、後継者の減少、遊  
休農地、荒廃農地の拡  
大など問題化している  
今後の対策はどうなっ  
ているか。



農業従事者の高齢化  
などの支援施策とし  
て、新規就農者定住促  
進交付金や農業後継者  
育成事業などあらゆる  
施策を推進していき、  
新規就農者、農業生産  
法人、企業などの農業  
参入の促進を図り、農  
業の再生を目指したい。

Q

保育園、幼稚園  
あり方審議会答申

を受け、保護者、地域住  
民への説明など今後の対  
応はどうするのか。

保育園職員構成は六割  
弱が臨時職員、パートで  
運営されているが適正な  
体制へ改善されないか。

幼稚園行政はいつまで  
継続して運営されるのか。

答申を受けて論議し進めていきたい  
山下町長

答申を尊重し取り組みたい  
永田教育長

今後の幼稚園、  
保育園行政  
小椋議員

A

山下町長  
答申を受けてい

ろんな事業を実施するに  
当たり、議会や町民の方  
などに広く意見を聞きな  
がら進めていくと考えて  
いる。

平成二十二年度は保育  
士を五名採用するように  
しているし、クラスを担  
当している臨時保育士に  
は手当てを出すようにし  
ている。また、通勤手当  
を支給するように改善し  
た。

A

永田教育長  
八橋幼稚園につ

いては平成二十二年度は  
合計二一名の入園申し込  
みがあり、二年間課程で  
保育する予定にしている。  
今後の幼稚園運営は、

答申を尊重しながら保護  
者の皆さんや地域の皆さ  
んなどの意見をしっかりと  
聞きながら、関係機関と  
連携を図り総合的に取り  
組むことが重要であると  
考えている。

## 安心の町とは 具体的に示すべき



青亀 壽宏 議員

安心に暮らせる町づくりを

山下町長



Q

山下町長の政治姿勢を聞きたい。

まず現在の町民の暮らし向きについてどう思っているのか、現状認識を伺う。

A

安心して暮らせる町づくりとは、

きだと思うが負担のあり方について町長の見解を伺う。

町長は公約で「住めば安心して暮せる町を実現していただける町づくりを目指す」としているが、いささか抽象的であり、具体的に示すべきではないか。

近年負担のあり方として「応益負担」が強まった。「応能負担」にすべ

例えば新庁舎建設の推進は安心の一つであるし、農林水産業の活性化の推進をして少しでも所得が上がるなどすべて安心に暮らせる町づくりであるという考え方で多様な意味を持っていると考えている。

## 75歳以上のお年寄り 医療費を無料に

青亀 議員

一定の負担は必要である

山下町長



Q

東京都日の出町

では昨年四月から七五歳以上のお年寄りの医療費の窓口負担を無料にした。琴浦町でも無料化に踏み切ってはどうか。

日の出町のお年寄りの平均医療費は三万三〇〇〇円であるのに対してわが町は七万円と二倍もかかっている。人間ドッグ無料化や健康教室・スポーツ振興などを取り組みながら無料化を目指すべきではないか。

A

今後ますます高齢化が進展し増大していくことが見込まれる高齢者の医療費をすべ

いは現役世代だけで負担していくことは現実的にも大変困難である。国民皆保険を堅持し、高齢者の皆さんが安心して医療を受けることができるようにするために、高齢者の間に一定程度の負担をさせていただくことは必要であると考えている。また、来年度に七六歳になる後期高齢者医療被保険者の方に人間ドッグ費用の助成、三〇人を予定するなど、さまざまな施策で病気の予防について普及啓発を図っていきたい。



## ナラ枯れ被害と対策は 手嶋議員

### 関係機関と連携して対処したい

山下町長



**Q** ナラ枯れは、特定の虫が運ぶ菌によって樹木が運水障害を起こし発生する。県の昨年の八月末時点のナラ枯れ被害状況のまとめによると、被害

木の体積は二七二七m<sup>3</sup>と前年度比で約1.5倍に増加している。新たに湯梨浜町、大山町にも被害が広がっていると聞いている。

県の調査から約六カ月経過した現在、琴浦町の被害状況とその対策について伺う。

**A**

今はなかなか有効な手段がない状況であるが、今年度から鳥取県ナラ枯れ被害対策協議会に加入してナラ枯れのパンフレットなど行政機関などに配布している。今後、協議会と一緒に防除や対策をしていきたいと考えている。



金田 章 議員

**Q**

地域経済再生のため、水産業の振

興は不可欠である。産地価格の低迷、燃油の高騰、エチゼンクラゲの発生などの悪条件に対し、燃費節減、活魚販売、沖じめ、道の駅での県外客の販売拡大などブランド化、品質管理、地産地消などの取り組みがなされている。

一、低迷する水産業に対する町の認識と対応はどうなっているか。

また、産地魚価低迷の原因の一つに大量輸入があると言われている。

二、魚介類の輸入品種、量の多さをどのように認識されているか、輸入制限を県、国へ発信する考えはないか伺う。

**A**

一、不況やデフレの影響を受け、元気がなくなっているのが今の実態である。そのような

中、赤碕町漁協は食育を兼ねた実績を築き、直売所などで雇用機会を生み出している。これは、国事業などを活用して、加工所や冷凍冷蔵

## 水産業への認識と対応は 赤碕港を活かして町の活性化を

山下町長



庫、直売所などを整備、支援してきた効果のあらわれと思っている。さらに、パークングエリアの漁協直売所の整備推進を図っているところである。また、漁業雇用緊急対策事業による研修者の雇用確保、漁業緊急保証対策事業で資金金利な

二、食料自給率向上のためにも地元の安心安全な魚介類をアピールすることも大切であると考え。輸入制限については地元の要望などを見据えて検討していきたい。

### 外国産水産物の店頭陳列品

下記の水産物は平成21年2月1日、県内の1つの大型店に陳列されていたものであります。これら外国産の横に、国産品の魚介類が陳列されていますが多量の外国産に圧倒されそうでした。

- ・ノルウェー産 塩サバ切身
- ・ノルウェー産 塩サバー匹物
- ・ベトナム産 エビ無頭ブラックタイガー
- ・フィリピン産 エビ有頭ブラックタイガー
- ・アメリカ産 塩紅サケ
- ・チリ産 甘塩トラウトサーモン切身
- ・インドネシア産 天然冷凍エビ
- ・アルゼンチン産 イカてり焼
- ・中国産 ウナギかば焼き
- ・スペイン産 赤魚
- ・ポルトガル産 赤魚
- ・ロシア産 赤魚
- ・タイ産 バナメイトエビ
- ・ベトナム産 エビブラックタイガー
- ・タイ産 エビブラックタイガー
- ・ロシア産 タラバガニ
- ・ロシア産 ズワイガニ
- ・チリ産 サーモン
- ・チリ産 生ウニ
- ・アラスカ産 カレイ
- ・インドネシア産 カレイ
- ・インドネシア産 エビバナメイト
- ・中国産 アサリ

## 学童保育に取り組んでほしい

検証し検討したい

山下町長



石賀 榮 議員



**A** 学童保育未実施の校区は、比較的山間部に属する地域が多いように思う。そのような実態を検証しながら地域にとって必要なのか検討し、地域の人の参加を得ながら対策をとることなどいろいろな選択肢を検討したい。

**Q** 児童を養育される若いお母さんから、学校から家に帰ってもだれも見守る者がいないので、働きに出ても不安であるという切実な訴えがあった。対応がない校区の学童保育に取り組んでいただきたいと考えるがどうか。

## ことうら物産館の建設は町主導で

石賀議員

町が主導的な役割を持っている

山下町長



(仮称) ことうら物産館建設予定地

**Q** 高速道路パークキングエリア新規直売施設設置について伺う。この大きな新規事業は商工会が主体となっており組み込まれているということを聞き、大変驚いた。やはり、行政がリーダーシップを執って関係者と

**A** 町が用地を取得して主導的な役割を持ち建物を建てる。その建物には、町の観光などの情報発信と町内の特

協議をし、建設されるべきと考えるが、町長の考えを伺う。  
産を販売する組織に入ってもらう。そのほかに、それぞれの事業者が最も有利な補助金制度を使って建物を建てていく。そして全体の調整や調和、景観は町が指導するという考えである。

# 委員会報告

## 総務

本会議において委員会に付託された陳情一件と平成二十二年一般会計予算、各財産区特別会計予算について、三月十六日と十八日に委員会を開催し慎重に審査した結果、次のとおり決した。

一般会計予算は、賛成多数で承認され、各財産区特別会計予算は全会一致により承認された。

陳情第二号 船上山登山道の景観については全会一致で採択と決した。

また、「船上山登山道の眺望を回復することを求める意見書」と「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書」を議員提出で提出することについて全会一致で決定した。



総務常任委員会

委員長 小椋正和

## 教育民生

本会議において審査付託された陳情一件と予算六件について、三月十六日から十八日までの三日間委員会を開催し、陳情については採択とし、本会議においても採択し、意見書を関係機関に送付した。

予算六件も承認し、本会議においても可決された。

また、議員発議により、「国民健康保険の国庫負担金の増額を求める意見書」の提出について、本会議に諮り、全会一致で承認され、意見書を国の関係先に送付した。



教育民生常任委員会

委員長 高塚 勝

## 農林建設

本会議において審査付託された一般会計当初予算（農林建設部門）及び特別会計当初予算（農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計）の三議案を審議し承認した。

また、陳情「安心・安全な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所・出張所の存続を求める意見書の採択について」は全会一致で採択とし、本会議最終日に議員提出議案として提出した。

琴浦町の農林水産業と建設関連を取り巻く山積する問題など、委員会の責務は重大であると認識している。今後、諸問題の解決に向けて委員一同努力していきたいと考えている。



農林建設常任委員会

委員長 桑本 始

# 陳 情

[平成22年3月定例会]

番 号	件 名	提出者	委員会付託	結 果
21年陳情第25号	「現行保育制度に基づく認可保育所の増設、保育・学童保育条件の改善、子育て支援施策の拡充と保育関係予算の大幅増額を求める意見書」提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利	教育民生	採 択
22年陳情第1号	安心・安全な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所・出張所の存続を求める意見書の採択について	国土交通省全建設労働組合 中国地方本部執行委員長 末永 敦 国土交通省管理職ユニオン 中国支部執行委員長 川崎 義夫	農林建設	採 択
22年陳情第2号	船上山登山道の景観について (陳情)	赤碕山楽会 会長 福元 茂	総 務	採 択

## 議会活動

### 二月

- 1日 町長就任式
- 10日 後期高齢者医療広域連合議会定例会 (湯梨浜町)
- 12日 中部ふるさと広域連合議会運営委員会 (北栄町)
- 中部ふるさと広域行政調査特別委員会 (北栄町)
- 町村議会議員共済年金受給者鳥取県協議会中部支部総会 (湯梨浜町)
- 18日 中部議長会正副議長研修会
- 22日 第1回琴浦町議会臨時会 総務常任委員会
- 教育民生常任委員会
- 農林建設常任委員会
- 議会運営委員会
- 議会広報特別委員会 全員協議会
- 26～28日 韓国蔚珍郡竹蟹祝祭 (韓国)

### 三月

- 1日 議会運営委員会
- 中部ふるさと広域連合議会定例会 (北栄町)
- 2日 町村議会議長会定期総会・自治功労者表彰式 (鳥取市)
- 3日 守門真商工会議所訪問 (大阪府)
- 4日 琴浦町あらゆる差別をなくする審議会
- 5日 琴浦町地域公共交通会議
- 9日 中学校卒業式
- 11～23日 第2回琴浦町議会定例会
- 11日 議会運営委員会 全員協議会
- 13日 鳥取大学・琴浦町連携事業発表会
- 15日 議会運営委員会
- 16日 赤碕小学校プール改築工事竣工式 教育民生常任委員会 総務常任委員会 琴浦クルマストリートプロジェクト発表会
- 17日 教育民生常任委員会
- 18日 農林建設常任委員会 教育民生常任委員会 総務常任委員会
- 19日 小学校卒業式
- 20日 アグリポート琴浦運営委員会
- 23日 全員協議会
- 29日 保育園卒園式 教育民生常任委員会
- 30日 中野議長会総会 (湯梨浜町)
- 30日 浜田市斎場視察 (鳥根県)
- 31日 シルバー人材センターターミナル通常総会 定住自立圏形成協定調印式 (倉吉市)

### 四月

- 1日 中部議長会 (倉吉市)
- 2日 韓国蔚珍郡訪問団歓迎レセプション 中部ふるさと広域連合議会運営委員会 (北栄町)
- 中部ふるさと広域連合議会全員協議会 (北栄町)
- 教職員宣誓式
- 4日 一向平山開き式
- 5日 保育園入園式
- 6日 議会広報特別委員会
- 9日 小・中学校入学式
- 13日 議会広報特別委員会
- 14日 議会O.B.総会
- 20日 議会広報特別委員会
- 23日 戦没者合同慰霊祭
- 25日 船上山さくら祭り

若葉の季節となり、一段と活気あふれる今日この頃です。

選挙後初めての二月臨時議会で、各常任委員会、特別委員会の体制が新たに決まり、活動が始まりました。

議会広報特別委員会もメンバーとなり、議会だよりを発刊することとなりました。

今後も、読みやすく親しみやすい議会だよりを目指して委員一同頑張っていますので、皆様方の感想をお寄せいただきますよう宜しくお願いいたします。

(藤堂裕史)



### 議会広報特別委員会

- 委員長 藤堂 裕史
- 副委員長 山田 義男
- 委員 井木 裕
- 委員 青亀 壽宏
- 委員 高塚 勝
- 委員 語堂 正範

